

黙示録の基礎知識スタディーガイド

罪人についての主の約束

★ 出エジプト 34章 6-7節

主は彼の前を通り過ぎるとき、宣言された。「主、主は、あわれみ深く、情け深い神、怒るのにおそく、恵みとまことに富み、恵みを千代も保ち、咎とそむきと罪を赦す者、罰すべき者は必ず罰して報いる者。父の咎は子に、子の子に、三代に、四代に。」

「罰すべき者は必ず罰して報いる者」

ヨハネの黙示録の著者については、1章1節と9節で、ヨハネの名前が書かれています。

12使徒の中のヨハネ

西暦100年から165年に、キリスト教弁明者であり、神学者としてよく知られていた聖ジャスティンと言われるジャスティン殉教者や、2世紀に教会の主教となっていたエイレナイオスなども、ヨハネの黙示録の著者が12使徒ヨハネによるものであると認めています。このことは、初代教会から認められていたことだと受け止めることができます。

1章1節に「イエス・キリストの黙示」と書かれています。

「黙示」という言葉は、ギリシャ語の「アポカリプス」という単語が使われています。その意味は、「カーテンをはずす。それによって、全員同じように見える」ということです。

■ヨハネの黙示録には、イエス・キリストにかかわる 以下5つのことが書かれています■

1. イエス・キリストの栄光について
2. キリストの教会について
3. 再臨前の出来事について
4. 再臨の様子について
5. 神の御国の到来について

ヨハネの黙示録のテーマ

★ 黙示録 1 章 7 節

見よ、彼が、雲に乗って来られる。すべての目、ことに彼を突き刺した者たちが、彼を見る。地上の諸族はみな、彼のゆえに嘆く。しかり。アーメン。

テーマ

イエス・キリストの再臨です。

聖書には、初臨に関して、109 個の預言が成就しました。
再臨に関しては、224 個の預言があります。再臨は初臨の 2 倍以上です。

書かれた年代

★ 黙示録 1 章 9 節

私ヨハネは、あなたがたの兄弟であり、あなたがたとともにイエスにある苦難と御国と忍耐とにあずかっている者であって、神のことばとイエスのあかしとのゆえに、パトモスという島にいた。

このパトモス島は、エペソの南西 90 km のエーゲ海にある、横 9 km、縦 15km の岩場で何も
ない、火成岩でできた小さな島です。
ヨハネの黙示録は、ローマ皇帝ドミティアヌスの治世 90 年代に書かれたとされています。

4 世紀に書かれたエウセビオスのレポートによりますと、ヨハネが解放されたのは、西暦
96 年から 98 年ごろの、皇帝ネルヴァの時代だということです。

黙示録の役割

重要な役割は、神のご計画の見えなかった部分が明らかにされることです。
ヨハネの黙示録を学ぶことにより、見えていなかった神様のご性質とご計画が見えてくる
のです。

黙示録の特徴



黙示録 1 章 3 節

この預言のことばを朗読する者と、それを聞いて、そこに書かれていることを心に留める人々は幸いである。

■ギリシャ語で以下の意味を持つ「マカリオス」という単語が使われています■

- ・最高に祝福される
- ・さびない健康
- ・思いもよらない恵み